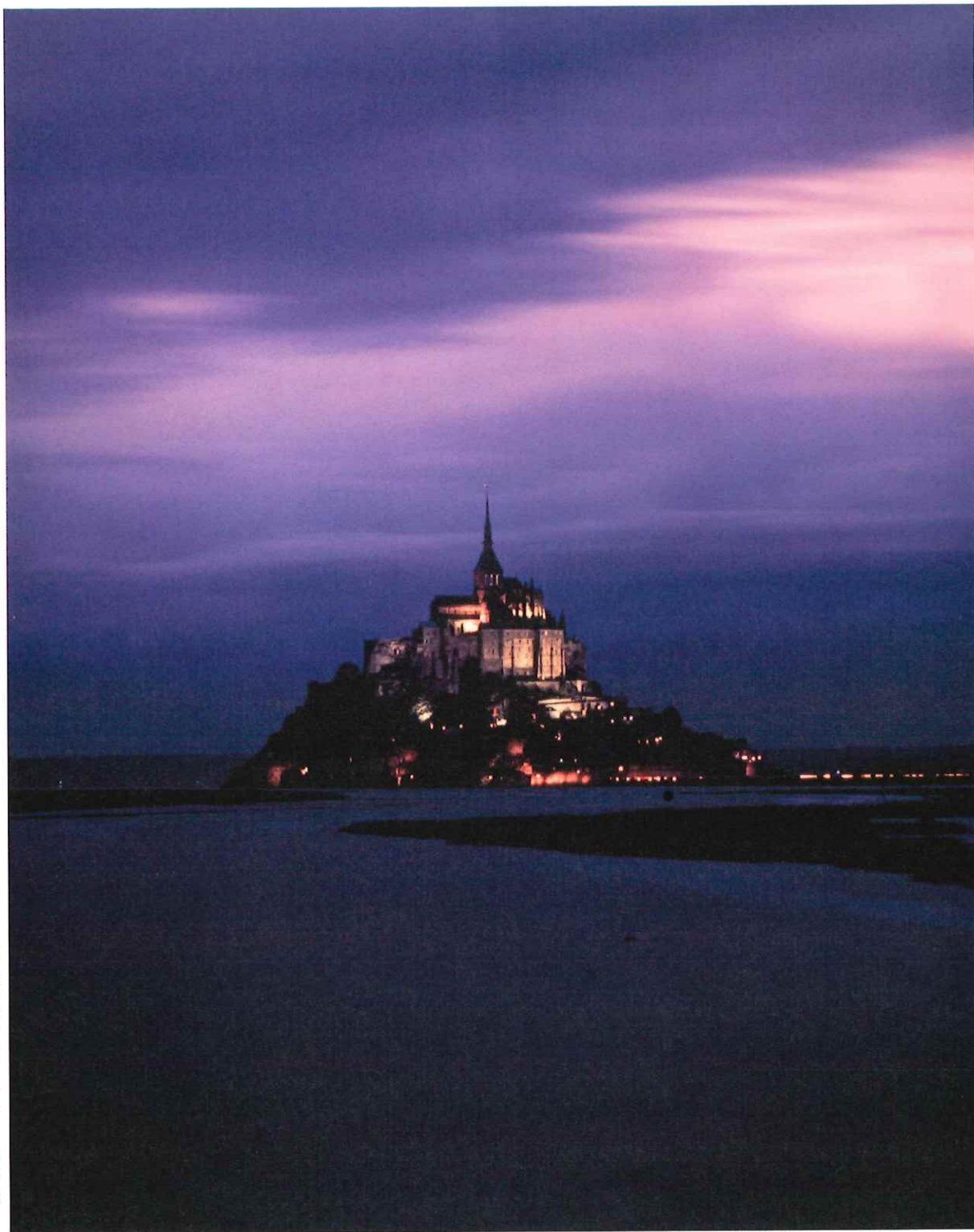


地球に生きる

MIWA KOKYU



生誕100周年 三輪晃久写真展

《幻想の中のモン・サン・ミシエル》

2025

5 | 24 6 | 29
sat. sun.

月曜日休館
10:00~17:00
(入館は16:30まで)

観覧料 一般 600 (400) 円 大学生以下無料

* () 内は前売券、および10名以上の団体料金

* 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方は無料

前売券取扱(4月1日~5月23日まで)

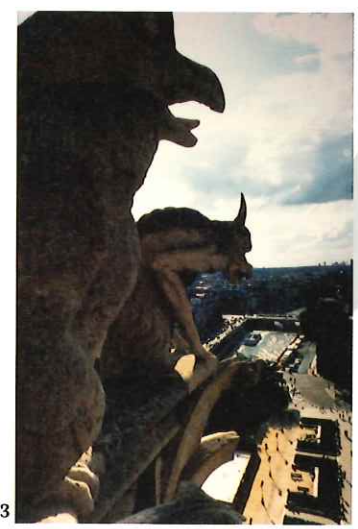
釧路市生涯学習センター(まなぼとと幣舞)、MOOガイド(釧路)、コーチャンフォー釧路店、くしろ演劇みたい会、コーチャンフォー釧路文化ホール、釧路市民活動センター(わっと)

本展での割引について: 2名まで100円引き ※他の割引との併用不可

SNS フォロー割: 当館のX(旧Twitter)アカウントのフォロー画面を受付で提示 チラシ割引: 本チラシを受付で提示



釧路市立美術館
Kushiro city Museum of Art
TEL 0154-42-6116 FAX 0154-41-8182
〒085-0836 釧路市幣舞町 4-28



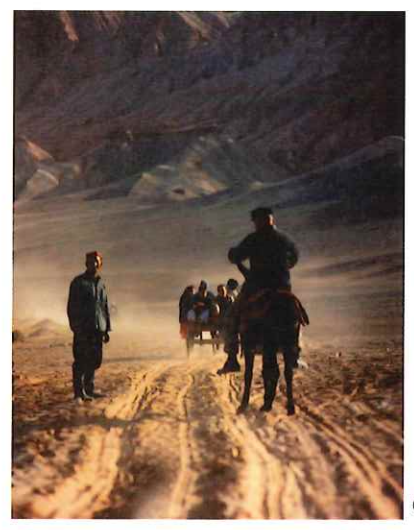
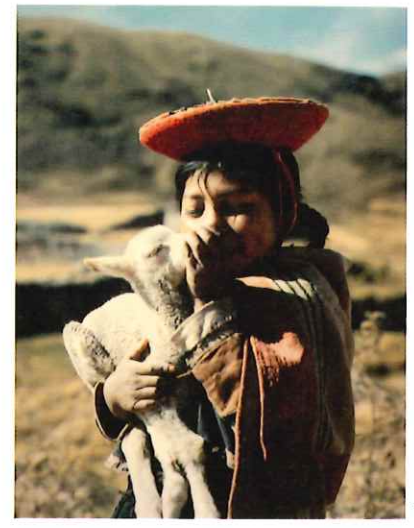
地球に生きる

生誕100周年 三輪晃久写真展

三輪晃久(1925-2006)は、人間社会の原点をさぐり、人間の幸せとは何かを模索して旅を続けた写真家です。千葉県に生まれ、戦時中は海軍学徒として従軍。九死に一生を得て戦後、釧路市で米軍の情報将校、ジョン・H・アンドレーフから写真の指導を受け、写真家としての道を歩み始めました。

三輪は世界を旅し異なった風土を感じながら、自然の中にとけこみ原始の生活を送る人々や輝かしい文明を築き上げた民族、闘争に明け暮れる国々などを見つめてきました。その中で生まれたテーマが人間共生をうたう〈われら地球人〉です。

本展は、三輪晃久の生誕100周年を記念して、釧路市で保管している作品から、約100点をご紹介します。地球という星に生きる仲間の姿をご覧いただきながら、あらためて人間らしさとは何かをみつめていただければ幸いです。



関連事業
5月24日(土) 記念講演会 三輪昌央氏(三輪晃久写真研究所)
13:00~(40分程度) 場所:まなぼと5Fハイビジョンシアター
詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。



みわこうきゅう
三輪晃久(1925-2006)
1925年、千葉県生まれ。戦時中は海軍に従軍。1945年に復員し早稲田大学政経学部に復学するも中退。1948年、釧路市でアメリカ軍将校から写真の指導を受け写真家を志す。世界各地を旅して撮影を続けた。国内外での個展のほか、『オーロラの街角で』(1981年)や『われら地球人』(1992年)などの写真集も多数出版。

展覧会およびイベントの予定は、やむを得ず変更となることがございます。その場合は、展覧会ホームページ等にてお知らせいたします。

- 1《氷河の上に舞い上がったオーロラ》 2《火渡り》
- 3《ノートルダム寺院の魔除けの像》 4《羊を抱く少女》
- 5《雪の降る道》 6《タクラマカン砂漠》



釧路市生涯学習センター
まなぼと幣舞
MANABOTTO NUJAMAI 幣舞
釧路市立美術館
Kushiro City Museum of Art
〒085-0836 釧路市幣舞町4番28号
TEL 0154-42-6116 FAX 0154-41-8182

[交通案内]
徒歩 JR 釧路駅から徒歩20分
タクシー JR 釧路駅から約5分
バス くしろバス停留所「釧路三慈会病院」下車徒歩1分
釧路空港からバス 空港前停留所から約45分、MOOバスターミナル下車徒歩5分

